



## 女流画家 <sup>たかむら ちえこ</sup> 高村 智恵子 (1886~1938)

高村智恵子は、明治時代末期から大正時代にかけての当時としては珍しい女流洋画家で、病に侵されてからは病院で千数百点もの紙絵を制作しました。

夫・高村光太郎が智恵子との純愛を綴った不朽の名作『智恵子抄』で有名ですが、智恵子自身も芸術家としていくつもの作品を残しています。

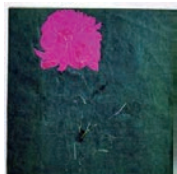
また、光太郎と育んだ純愛の形も昭和の恋愛史の一つとして語られています。

そして、そんな智恵子が生まれ育ち、いつまでも愛してやまなかったふるさとがここにあります。



智恵子と光太郎

### 智恵子の生んだ紙絵作品



菊



葡萄



シクラメン



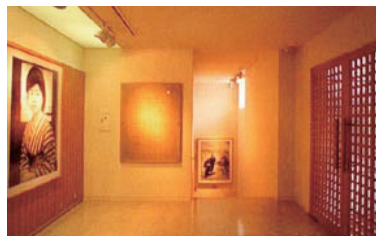
白い小鉢

### 智恵子の生家



明治の初期に建てられた生家には、造り酒屋として新酒の醸成を伝える杉玉が下がります。屋号は「米屋」、酒銘「花霞」。2階にある智恵子の部屋からは今にも智恵子が降りて来そう。

### 智恵子記念館



生家の裏庭には、当時の酒蔵をイメージした「智恵子記念館」。病に侵された智恵子の美しい紙絵や当時の女性としては珍しい油絵の作品等が展示してあります。



二本松ふるさと人物史  
二本松市ウェブサイト

## 第66回二本松の菊人形 ~竹取物語~

期 間 10/8(土)~11/13(日)

9:00~16:00

※期間中は無休です。

会 場 福島県立霞ヶ城公園(国指定史跡二本松城跡)



### 「二本松の菊人形」と「二本松歴史館」の共通割引券販売中

菊人形と二本松歴史館(にはんまつ城報館1F)の入場券がセットになった“共通割引券”も販売中です!(200円お得!)

価 格 大人800円 高校生700円

販売場所 にはんまつ城報館、菊人形会場

※にはんまつ城報館は、10/1~11/13まで休まず営業します!



開催  
決定

にはんまつ城報館1F  
二本松歴史館「企画展示室」

「三代ものがたり」  
にわ ちえこ 丹羽家黎明期のそくせき  
足跡

期 間

10/8(土)~11/27(日)

入場料 無料

※常設展は有料(大人200円、高校生以下100円)です。



(切り離してご利用ください)